

総合政策委員会

「東日本の玄関口」として 本市でも地方創生の推進を

人口減少や急激な高齢化に備える地方創生の取組みは重要であり、「東日本の玄関口」である本市が東日本全体と連携して推進することで、さらに本市でも地方創生が進み、新たな経済圏が創出されます。福岡市、熊本市、鹿児島県を視察し、地域に根差した中小企業・小規模事業者の支援、地域資源を生かした観光戦略の取組みなどを学びました。



鹿児島県では観光立県の実現に向けた取組みなどを調査

市民生活委員会

誰もが尊重される社会と 安心な生活のさらなる向上へ

奈良県ではスポーツ組織や経済団体などとの連携による人権啓発活動を、京都府では女性活躍社会の推進状況を視察し、いずれも本市の強みを生かせる事例でした。また、寄居エコスペースでは、産業廃棄物再資源化技術の開発や、障がい者雇用などSDGs実現への工夫が学べました。市内に新設された見沼消防署では、市民を守る消防職員の生の声を伺いました。



見沼消防署では消防車両や訓練の様子を視察

まちづくり委員会

国の施策を生かした 本市の都市基盤整備を

本市が進める2都心・4副都心の都市構造の実現に向けた基盤整備には、規制緩和など国の都市開発制度が大きく関わっています。その活用事例を学びに、愛媛県今治市、広島県呉市、名古屋市、東京都港区の中心市街地や駅の再生整備事業などを視察しました。国や県、事業者や民間団体との連携など、本市のまちづくりにとって大変参考になりました。



スポーツ、居住機能などを一体的に整備する今治新都市地区

常任委員会 活動レポート

常任委員会は、議案の審査だけでなく、市民生活に深くかかわる課題について調査・研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。



文教委員会

未来ある子どもたちへ 学校ICT環境の整備を

子どもたちが生きていく未来は、AIやロボットと共存していかななくてはなりません。ICT(情報通信技術)の革新が目ざましい中、本市の子どもたちにできるだけ早くICT環境を整えていくため、先進都市である熊本市、福岡市を視察しました。本市でも、各学校へのパソコンの導入も含めたICT環境の整備に向け、今後も研究を続けていきます。



福岡市の小学校での電子黒板を活用した授業風景

保健福祉委員会

児童虐待の防止と 療育環境の充実に向けて

全国的に児童虐待の通報は年々増加しており、子どもたちのため、いち早い対応が求められています。大阪市の児童相談所では、48時間以内の対応、通告の全件確認など、熱意ある取組みの現状を伺いました。また、神戸市では東部療育センターを視察し、自閉症自立支援プログラムなど参考になる取組みが多くあり、有意義な視察となりました。



職員のきめ細かい対応が行われている神戸市の療育センター